

看護学科 4年次「看護研究」通年2単位

到達目標

看護学の学習過程において関心を持った課題について、適切な研究手法を用い、文献検討、研究計画書の作成、データ分析、論文作成、発表を行うことができる。

評価項目／評価基準		5 (優)	4 (良)	3 (可)	1 (不可)
テーマの取り上げ方	動機・目的が明確に表現できる。(5)	動機や目的が学術的であり、論理的に記述することができる。	動機や目的を論理的に述べることができる。	動機や目的を表現することができる。	動機や目的が曖昧である。
	10点	専門領域にとって有意義である。(5)	有意義なテーマである。専門領域に活用できる。	関連するテーマである。専門領域に少し活用できる。	関連していない。専門領域に活用できない。
文献収集	研究に必要な先行研究の文献検討(5)	先行研究を批判的に読み、検討結果を研究に活用できる。	研究に必要な先行研究の収集と文献検討ができる。	文献の収集ができる。文献検討の仕方が分かる。	先行研究の収集や検討が不十分である。
	10点	引用方法(5)	文献を引用して、科学的な論述ができる。文献リストの記載ができる。	文献の引用の仕方や文献リストの記載について理解できる。	引用や引用文献リストの記載が不十分である。
研究方法	研究方法(5)	適切な研究方法で実施し分かり易く記述できる。	研究方法を理解して記述できる。	研究方法を記述できる。	研究方法が適切ではない。
	10点	倫理的配慮(5)	倫理的配慮を自ら考え研究を進められる。	倫理的配慮がについて理解できる。	倫理的配慮ができない。
発表	発表資料の作成(5)	自主的に分かり易い発表資料が作成できる。	発表内容が伝わる資料を作成できる。	発表資料が作成できる。	発表内容にそった資料が作成できない。
	10点	発表の出来栄(5)	発表態度、声の大きさ、発表時間が適切で分かりやすい。	声の大きさ、発表態度を意識し、発表時間を守ることができる。	発表態度が悪い。または、発表時間を守っていない(長い／短い)。
合計 (満点40点)					
評価項目／評価基準		10 (優)	8 (良)	6 (可)	3 (不可)
論文の妥当性	分析結果(10)	分析結果を分かりやすく示す工夫ができる。	分析結果を正確に示すことができる。	分析結果を示すことができる。	分析結果が分からない。
	20点	考察(10)	結果を客観的に考察し述べることができる。	結果から考察し述べることができる。	結果に基づいた考察ができない。
研究への取り組み方	主体性(10)	積極的かつ意欲的に研究を進めることができる。	自主性をもって研究を進めることができる。	研究指導を受けることができる。	指導を十分に受けていない。
	20点	研究のプロセスの理解 (10)	研究プロセスについて十分に理解できる。	研究プロセスについて理解できる。	研究プロセスが理解できない。
論文の体裁	要項の規定にそって記載する	指導前に要項を確認して自分で体裁を正確に整えることができる。	要項を見ながら論文の体裁を整えることができる。	論文の体裁の整え方がわかる。	規定に沿った体裁を整えることができない。
抄録	抄録の作成	論文の要旨が明確に伝わる抄録を作成できる。	要項を確認して自主的に抄録を作成できる。	抄録を作成できる。	抄録が期日に提出できない又は誤りが多い。
合計 (満点60点)					
総合計(満点100点)					